



# 第59回日本腹部救急医学会総会

- ▶ HOME
- ▶ 開催概要
- ▶ 会長挨拶
- ▶ SDGs Action 2023
- ▶ 沖縄本土復帰50周年特別企画
- ▶ Dr. G 特別講義 in Okinawa
- ▶ 教育セミナー（ソクラテス法）
- ▶ 認定医制度セミナー
- ▶ イメージ・インタープリター

第59回日本腹部救急医学会総会  
腹部救急診療から始まる若手育成  
卓越した Heart, Head, Hand を目指して

2023 3/9(木)・10(金)

会場：沖縄コンベンションセンター  
会長：袴田 健一 弘前大学大学院医学研究科  
消化器外科学講座・小児外科学講座  
副会長：本竹 秀光 沖縄県立中部病院  
ハワイ大学卒業医学臨床教育事業団

日本腹部救急医学会雑誌 Vol.43 (2) 2023

## 一般演題 148

第2日目 3月10日（金） 14：20～15：10 第18会場 口演会場⑩

### 救急全般⑥

司会 いわき市医療センター 外科

東京医科大学八王子医療センター 腎臓外科

吉田 寛

上野 琢哉

腹部救急疾患は自分達外科医が対応する事の多い腹膜炎や動脈瘤破裂に始まり、婦人科の卵巣茎捻転や泌尿器科の腎膿瘍や膀胱破裂等、多岐に渡ります。その中で早い段階からの血圧を含めた循環動態の安定を図ることは最優先であり、今回、司会を担当したセッションでは救急医療の重要課題でもある医療従事者間のチームワークの重要性、現場での積極的なコミュニケーションの重要性を再認識させて頂きました。

当院ではこれまでも職員間の意思疎通に勤めて参りましたが、引き続き努めて参ります。

## 一般演題 148

第2日目 3月10日(金) 14:20～15:10 第18会場 口演会場⑩

### 救急全般⑥

- 司会 いわき市医療センター 外科 吉田 寛  
東京医科大学八王子医療センター 腎臓外科 上野 琢哉
- 0148-1 外傷性小腸穿孔の術中に指摘された小腸NETの一例  
河北総合病院 消化器外科／  
東京大学医科学研究所附属病院 外科 門間 聡子
- 0148-2 COVID-19に併発したBoerhaave症候群の1例  
北里大学 医学部 救命救急医学 岡崎佳奈子
- 0148-3 食道裂孔ヘルニアに合併した胃潰瘍穿孔に対して保存的に救命し得た1例  
佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器外科 内 玲往那
- 0148-4 胸腔穿刺時の肝臓誤穿刺による出血性ショックおよび腹部コンパートメント  
症候群に対しIVRおよび血腫ドレナージにより救命し得た1例  
大隅鹿屋病院 消化器外科 瀧口 翔也
- 0148-5 腸間膜損傷を伴う外傷性右下腰ヘルニアに対し待機的手術を施行した一例  
八戸市立市民病院 外科／つがる総合病院 消化器外科 米内山真之介
- 0148-6 腹腔鏡下手術における術中出血に対するトラブルシューティング  
日本赤十字社 唐津赤十字病院 外科 平木 将紹
- 0148-7 IVR—CT装置がない当センターにおいてCTガイド下ドレナージを行った  
体幹部膿瘍の4症例  
久留米大学 外科学／久留米大学 高度救命救急センター 吉富 宗宏